

滋賀県立大学

「平成 27 年度持続的な地域創生を推進する人材育成

拠点形成モデル事業」

Web コンテンツ作成業務委託

入札仕様書

平成27年9月

公立大学法人滋賀県立大学

1. 業務の目的

本業務は、地域主体の「低炭素・資源循環・自然共生」社会の創出を「加速化」させるための、「幅広い知識」と「ノウハウ」と「実践力」を有し、「即戦力」となるリーダー、コーディネーターとしての人材を、地域を熟知し生活している人の中から持続的に育成する拠点の形成、および他地域への波及効果を促す拠点の形成を目的とする「平成 27 年度持続的な地域創生を推進する人材育成拠点形成モデル事業」における、育成プログラムWeb講義の教材作成および、講義の記録映像作成、フォーラム記録、次年度の講義準備取材活動等により、専用ホームページのWebコンテンツを作成することを目的とする。

2. 業務の内容

(1) Web 講義（4 科目）教材の作成

授業で配信するため、下記 4 科目について、教員や外部講師の協力のもと、映像用教材を作成する（それぞれの科目の内容及び講師については別記 1 参照）。そのために必要な撮影・録音・編集を行う。場所はスタジオで行うことを基本とする。

1 科目は 90 分 8 コマで構成しており、Web 講義分は 6 コマ、残り 2 コマはスクリーング（面接授業）である。Web 講義テキスト 1 コマ分は 20 分（スライド 10 枚程度＋演習課題）×3 本を基本に構成する。

全体では、6 コマ×4 科目＝計 24 コマ分の Web 講義教材を作成する。1 コマの収録にスタジオで、半日（4 時間）を想定している（NGで撮り直しも含む）。

授業は、本年度（平成 27 年 10 月～平成 28 年 2 月）、下記①、②の 2 科目を行い、次年度（平成 28 年 4 月～平成 28 年 8 月）に、下記③、④の 2 科目を行う。

平成 27 年 10 月 10 日（土）に開講式を予定しており、①、②の科目、それぞれの第 1 回目分については、その日程に間に合うよう作業を行う。第 2 回目分以降についても、順次、撮影収録・編集を行い、授業計画に合せたコンテンツの配信が行えるようにする。

③、④の科目についても、計画的に撮影収録・編集を行う。

- ①「低炭素・資源循環・自然共生テクノロジー特論」
- ②「地域イノベーション特論」
- ③「地域デザイン特論」
- ④「地域マネジメント特論」

(2) 講義記録の作成

①スクリーングの記録映像

Web アーカイブとして配信できるよう、本年度、実施する「低炭素・資源循環・自然共生テクノロジー特論」、「地域イノベーション特論」のスクリーングの映像記録を作成する。

2 科目×90 分×2 コマ→2 科目×30 分×2 コマの記録として編集する。

②実践現場体感特別講義の記録映像

実践現場体感特別講義は、今年度は別記1に示す滋賀県内コースとし、日帰り2コース、1泊2日2コースの4コースを設定。訪問する実践現場は、日帰りコースが3カ所程度、1泊2日コースが6カ所程度、合計18カ所程度とする。受講生の交通手段はいずれも貸切バスを利用する予定である。

業務は、特別講義に同行取材し、訪問先の20分間紹介ビデオを作成する。

内容は、取材先の活動概要、事業スキーム図、活動のポイントを各数枚程度のスライドを作成して挿入する。現場の状況、受講生の体感の様子、実践者の講話を盛り込む。また、主催者の各コース事前打合せに同行し、撮影の準備を行う。

宿泊を伴う2コースについて、宿泊場所は湖東コースが高取山ふれあい公園自然体験宿泊施設、湖西コースはグリーンパーク思い出の森・山荘「くつき」を予定しており、宿泊場所でのミーティングについても同行取材する。

<滋賀県内コース>

日帰り2コース：湖北（バイオマス他）、湖南・湖東（BDF他）

1泊2日2コース：湖東（バイオマス他）、湖西（複合）

（3）フォーラム記録の作成

キックオフフォーラムと推進フォーラムの内容をWebコンテンツとして配信できるよう、映像で記録、編集を行う。各フォーラムは基調講演とパネルディスカッションで構成され、合計180分を60分に編集する。

①キックオフフォーラム

既に平成27年9月5日に、滋賀県立男女共同参画センター G-NET しがに於いて実施しており、滋賀県立大学が撮影したビデオを編集する。

②推進フォーラム

平成28年2月27日に実施予定である。

（4）次年度特別講義の記録作成準備

別記1に示す次年度前半に実施する「実践現場体感特別講義」県外コースの企画準備に際して、主催者の各コースの事前打合せに同行し、映像による講義記録作成の準備作業を行う。取材内容は、次年度の正式な講義記録を補助するものとして活用する。

次年度実施するコースは1泊2日3コース、3泊4日1コースの4コース。実践現場は、1泊2日コースが1～2カ所程度、3泊4日コースが2カ所程度、合計6カ所程度とする。受講生の交通手段はいずれも貸切バスを利用する予定である。

<滋賀県外コース>

1泊2日3コース：徳島県上勝町（地域資源活用）、

岡山県真庭市（バイオマス）、北九州市（複合）

3 泊 4 日 1 コース：岩手県葛巻町および大槌町
(バイオマス、森林資源・地域再生)

なお、今年度実施する各コース事前打合せの滋賀県立大学担当者の交通ルート(手段)については、次の予定をしている。

- 徳島県上勝町(1泊2日)
滋賀県立大学～南彦根駅(バス)～三ノ宮(JR)～徳島駅(高速バス)～横瀬西(バス)～上勝町役場(バス) の往復
- 岡山県真庭市(1泊2日)
滋賀県立大学～南彦根駅(バス)～京都(JR)～岡山(新幹線)～真庭市役所前(バス) の往復
- 北九州市(1泊2日)
滋賀県立大学～南彦根駅(バス)～京都(JR)～小倉(新幹線) の往復
- 岩手県葛巻町および大槌町(2泊3日)
滋賀県立大学～南彦根駅(バス)～米原(JR)～いわて沼宮内(新幹線)～葛巻役場前(バス)～盛岡(バス)～釜石(JR)～中央公民館口(バス)～釜石(バス)～花巻(JR)～米原(新幹線)～南彦根(JR)～滋賀県立大学(バス)

3. 業務の期間

契約締結日～平成 28 年 3 月 25 日

4. 成果品

上記(1)～(3)の Web コンテンツ

FLV もしくは WMV 形式、MP4 形式など、ホームページで閲覧可能な動画ファイル、及び DVD

上記(4)の記録一式

DVD

カリキュラム（予定）

1. 「web 講義＋スクーリング」形式の講義 4 科目

(1) 低炭素・資源循環・自然共生テクノロジー特論（仮称）

低炭素・資源循環・自然共生社会の構築に必要な知識と法制度、先進技術について学ぶ。

- ① 地球温暖化の現状と対策手法
講師：杉江弘行（滋賀県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長）
- ② 滋賀県における地球温暖化対策の実践事例
講師：中嶋洋一（滋賀県エネルギー政策課 主幹）
- ③ 地球温暖化対策の関係法制度
講師：上河原献二（滋賀県立大学環境科学研究科 教授（環境法・環境政策））
- ④⑧ スクーリング：滋賀県の地域性を活かした地球温暖化対策手法（ワークショップ含む）
講師：辻 博子（滋賀グリーン購入ネットワーク 事務局長（近江環人））
講師：鶴飼 修（滋賀県立大学地域共生センター准教授（環境共生まちづくり））
- ⑤ エネルギーと先進技術 1（太陽光発電、共同発電所、燃料電池、HEMS など）
講師：秋山毅（滋賀県立大学工学研究科 准教授（光電変換、太陽電池））
- ⑥ エネルギーと先進技術 2（燃料電池、ガス発電、BDF利用など）
講師：未定
- ⑦ エネルギーと先進技術 3（木材利活用技術、パッシブソーラー技術）
講師：高田豊文（滋賀県立大学環境科学研究科 教授（建築構造学、木質構造））

(2) 地域イノベーション特論

低炭素・資源循環・自然共生社会の構築に必要な地域イノベーション手法を実例から学ぶ。

- ① 地域イノベーション総論
講師：上田洋平（滋賀県立大学地域共生センター 助教（環境社会学））
- ② 湖北における地域イノベーション
ゲスト講師：イ) 大野木長寿村まちづくり会社 藤田博
ロ) 上山田どっぽ村 清水陽介
ハ) ウッディパル余呉 前川和彦
- ③ 湖西における地域イノベーション
ゲスト講師：イ) 針江のんきいーふぁーむ 石津大輔
ロ) NPO 法人結びめ 西川唱子・原田将・清水安治
ハ) ソラノネ食堂 岩田康子・松山剛
- ④⑧ スクーリング：地域イノベーション創発論（ワークショップ含む）
講師：上田洋平（滋賀県立大学地域共生センター 助教（環境社会学））
講師：吉井 隆（今郷好日会 顧問、近畿大学 非常勤講師（近江環人））
- ⑤ 湖東における地域イノベーション
ゲスト講師：イ) あいとう福祉モール 野村正次
ロ) 愛のまちエコ倶楽部 増田隆

- ハ) 菜の花プロジェクトネットワーク 山田実・藤井絢子
- ⑥ 湖南における地域イノベーション
 ゲスト講師：イ) 一般社団法人コナン市民共同発電所プロジェクト 溝口弘
 ロ) 株式会社みらいもりやま 高岡健二
 ハ) こなんの森・木の家ねっと 吉本智
- ⑦ 全国各地における地域イノベーション
 ゲスト講師：イ) NPO 法人地域再生機構 平野彰秀
 ロ) 慶應義塾大学 飯盛義徳
 ハ) ロハス・ビジネス・アライアンス 大和田順子

(3) 地域デザイン特論

地域資源の発見・発掘し、地域のビジョン創造につなげる地域デザイン手法について学ぶ。

- ① 地域診断論
 講師：鵜飼 修（滋賀県立大学地域共生センター准教授（環境共生まちづくり））
- ② エコロジカルプランニングによる地域診断
 講師：鵜飼 修（滋賀県立大学地域共生センター准教授（環境共生まちづくり））
- ③ 近江の歴史的 특성
 講師：水野章二（滋賀県立大学人間文化科学研究科 教授（日本中世史））
- ④ 近江の産業的特性
 講師：林宰司（滋賀県立大学環境科学研究科 准教授（環境経済学，環境政策））
- ⑤ 近江の生態的特性
 講師：中井克樹（琵琶湖博物館研究部生態系研究領域・専門学芸員（環境保全復元学））
- ⑥ 近江の地学的特性
 講師：香川雄一（滋賀県立大学環境科学研究科 准教授（人文地理学））
- ⑦⑧ スクーリング：地域診断法の実践手法（ワークショップ含む）
 講師：西村健之（レイクサイドビジュアル（農業ベンチャー）（近江環人））
 講師：鵜飼 修（滋賀県立大学地域共生センター准教授（環境共生まちづくり））

(4) 地域マネジメント特論

地域イノベーションを実践するためのマネジメント手法、事業創発手法について学ぶ。

- ① 地域マネジメント総論
 講師：鵜飼 修（滋賀県立大学地域共生センター准教授（環境共生まちづくり））
- ② 地域環境経営論
 講師：高橋卓也（滋賀県立大学環境科学研究科 教授（企業の環境経営））
- ③ ファンドレイジングの実践
 講師：西岡孝幸（日本ビジネスインキュベーション協会 理事）
- ④ デザインシンキングによる事業創発
 講師：鵜飼 修（滋賀県立大学地域共生センター准教授（環境共生まちづくり））
- ⑤ コミュニティ・ビジネス論

講師：鵜飼 修（滋賀県立大学地域共生センター准教授（環境共生まちづくり））

⑥ コミュニティ・マネジメント理論と実践

講師：鵜飼 修（滋賀県立大学地域共生センター准教授（環境共生まちづくり））

⑦⑧ スクーリング：地域マネジメントワークショップ

講師：迫間勇人（彦根商工会議所（近江環人））

講師：鵜飼 修（滋賀県立大学地域共生センター准教授（環境共生まちづくり））

2. 実地講習と合宿形式の「集中講義」2科目

（1）実践現場体感特別講義 ～現場訪問と実践者による講義で現場感覚を磨く

現場訪問と現地講義を通じて、実践力を養う。県内のモデル的な地域を訪問する4ルートと、県外のモデル的な地区4箇所を設定し、コマ数を設定した選択制とする。現地の実践者をゲスト講師とした講義、体験学習を行う。

対象ルート毎に授業時間相当コマ数を設定し、15コマ以上で2単位とする。コマ数は、社会人の参加しやすさを考慮して全27コマを設定する。

<滋賀県内コース> (14コマ分)

日帰り2コース（各3コマ分）：湖北（バイオマス他）、湖南・湖東（BDF他）

1泊2日2コース（各4コマ分）：湖東（バイオマス他）、湖西（複合）

<滋賀県外コース> (13コマ分)

1泊2日3コース（各3コマ分）：徳島県上勝町（地域資源活用）、

岡山県真庭市（バイオマス）、北九州市（複合）

2泊3日1コース（4コマ分）：岩手県葛巻町および大槌町（バイオマス、森林資源・地域再生）

（2）地域ビジネスプラン創造特別講義 ～プロジェクトの提案力を養う

2泊3日（15コマ）の合宿形式でのビジネスプラン創造を通じて自らのモチベーションを向上し活動「実践力」を養う。金融機関関係者等のゲスト講師によるビジネスプラン作成ノウハウに関する講義の受講後、ゼミナール形式による指導を通して各自のビジネスプランを作成する。作成したプランをプレゼンテーションし、審査員の評価を受ける。

3. 「実習」1科目

（1）コミュニティ・プロジェクト実習 ～プロジェクト推進力を鍛える

受講生がプロジェクトの一員として、滋賀県内の特定地域における実際の地域課題・地域イノベーションプロジェクトに取り組み、地域と連携してその解決策を探り、地域に対して提案を行い実践する。解決策を探る過程では、「低炭素・資源循環・自然共生」社会の構築を念頭に、特に、関係者による合意形成と、地域文化の尊重を重視する。具体的なプロジェクトとしては、古民家活用×バイオマス利用、農業ブランド化×ソーラーシェアリング、森林資源利用新商品開発等を通じた地域再生プロジェクトが考えられる。成果はフォーラムにおいて発表する。